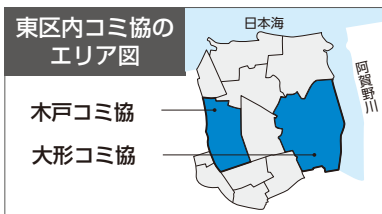


トーク(得)
東区する
コミ協
情報

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は、地図にある2つのコミ協を紹介します。



木戸地域コミュニティ協議会 理事長 **横山 敏之**

子どもと地域を犯罪から守るために
「地域安全マップづくり」

子ども自身が犯罪から身を守るための感覚を養い、地域で防犯力を高めることを目的とした「地域安全マップづくり」を、平成22年から行っています。



本事業の意義が学校及び保護者にも認められ、3年前からは学年行事(竹尾小学校は4年生、木戸小学校は5年生)として行っています。

作品は「新潟県地域安全マップづくりコンテスト」に応募し、これまでに最優秀賞の新潟県知事賞や安全マップ賞を受賞しています。また、当コミ



ミュニティ協議会も、この事業活動を長年行って子どもの防犯教育に尽力したということで、新潟県から表彰を受けました。

大形地区コミュニティ協議会 会長 **滝澤 莞爾**

文化祭と地域ボランティア

当コミュニティ協議会は、24の自治会(世帯数約5,500)と27の関係団体から構成されています。

地域の特性を活かして、福祉と新潟県立大学や新潟北高校等を含めた学園都市を目指す一方で、JR大形駅周辺の整備が当面の課題です。

大形まちづくりセンターの文化祭は、コミュニティ協議会の役員も協力して3回目の開催になりますが、毎回力作がそろいます。

地域のボランティアは「じゃがいもの会」や「大形福祉ふれあいの会」などの活動があり、障がいのある方と健常者が共に参加する「ふれあいウォークラリー」は21回を数えました。ラリーの参加者にはおにぎりや豚汁が用意され、一緒に食べる顔には笑みが浮かびました。



そうなんだ!
東区について知るクイズ

全問正解者の中から抽選で**30名**に
図書カード**1,000円分**をプレゼント!



まんなが元気くん

- ①東区役所は、今年度、新庁舎誕生(ア:3周年 イ:5周年 ウ:10周年)を迎えました。
- ②東区の海老ヶ瀬には(ア:みずばしょう イ:ミズアオイ ウ:雪割草)の自生地があります。
- ③東区には牡丹山諏訪神社古墳があり、円筒埴輪の破片が出土しました。マスコットキャラクターの名前は(ア:ぬたりん イ:ぼたんつつは ウ:はなのこまち)です。
- ④東区には新潟バイパスと新新バイパスが通っていて、インターチェンジが(ア:1か所 イ:2か所 ウ:4か所)あります。

応募のきまり

ハガキにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、本紙の感想・ご意見をお書き添えの上、郵送にてご応募ください。

○締め切り 平成29年1月31日(火)(必着)

○送付先 本紙1面の「事務局」あて

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

自治協議会の役割や活動、各地域の様子などを、より分かりやすく見やすい紙面でお伝えしようと、毎回編集委員が一丸となり作業にあたっています。

今回のクイズの応募の際に、ぜひ皆様からのお声をお聞かせください。私たちの励みとなり、次号の紙面作りに活かしていきたいと思ひます。(大橋 宏子)



じちきょうぎかいだより
ひがしく
東区自治協議会
だより

平成28年12月18日発行

第8号

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709

新潟市東区下木戸1丁目4番1号

東区役所地域課内

TEL: 025-250-2110

FAX: 025-271-8131

E-Mail: chiiki.e@city.niigata.lg.jp

新・東区役所庁舎誕生5周年イベント開催
9月22日(木・祝日)~25日(日)

東区自治協議会では、記念イベントとタイアップして、南口エントランスホールで催し物を開催しました。

パネル展

市民協働部門の第1部会は、自治協議会の活動、防災の活動、新潟県立大学との連携活動について紹介しました。福祉・教育・文化部門の第2部会は、昨年度開催したコーチングセミナーと東区の魅力発見ツアー、今年度開催した東区めぐり子どもバスツアーについて紹介しました。産業・環境部門の第3部会は、東区の大規模交通拠点(港・空港・JR)について紹介しました。その中で、東日本大震災の際、新潟から東北の被災地へ、磐越西線を経由して石油を輸送するという重要な役割を果たしたJR貨物の活躍についても紹介し、石油を積んだタンク車を牽引するために全国から応援に駆け付けたディーゼル機関車の写真などを展示しました。



自治協議会の活動紹介と併せ、区内12コミュニティ協議会の特色ある活動についても紹介し、会場は多くの見学者で賑わいました。

また、平成26年度に自治協議会が制作した、東区を紹介するデジタル紙芝居「新潟市東区へようこそ~東区の魅力を探す物語~」を上映し、東区の魅力を広くPRしました。

防災ミニイベント

米国NASAが開発に携わった25年間の長期保存が可能な非常食と、五目ご飯のアルファ米の試食会を行いました。試食した方は、25年保存の非常食の美味しさと保存期間の長さ、驚きの声をあげていました。その他、普段から使っている食品のローリングストック(保存食を使ったら補充)で非常時に備える方法も紹介しました。

また、災害時に大きな問題となるトイレ事情について、国土交通省が推奨している汚水マンホールを使ったマンホールトイレの作り方を紹介しました。

防災カフェのコーナーでは、新聞紙で作るお皿やスリッパなどの簡単な防災グッズづくり、新潟市防災マスコットキャラクターのジージョとキョージョなどのキャラクターぬりえを行いました。



(若槻 勲)

「東区まちづくり実践塾（活動編）」

各部会の活動報告

第1部会（市民協働部門）

部会長 五十嵐 初司

地域防災推進事業

6月22日に開催した第1回研修会に引き続き、第2回目の研修会を11月29日に開催しました。第2回目は、「共助（地域で共に助け合うこと）」の意識を高めることを目的に、公益社団法人 中越防災安全推進機構の方を講師にお迎えし、コミュニティ協議会単位のグループ毎に事例の検討を行いました。当日は、自治協議会委員と地域関係者（コミュニティ協議会会長、防災担当者、防災士）の約60名が参加し、活発な意見交換が行われました。今回の研修が、地域における日頃の防災活動の一助となれば幸いです。



第2部会（福祉・教育・文化部門）

部会長 吉田 信延

東区まちの魅力発見事業

「東区めぐりツアー」の第2回目を10月29日に、第3回目を11月11日に開催しました。第2回目は、東区歴史浪漫プロジェクトと連携し、「東区歴史浪漫めぐりツアー」として区内外の古墳などを巡りました。第3回目に訪問した山の下閘門排水機場では、木材を運搬する船が閘門を通行し、信濃川よりも2メートルほど水位の低い通船川へ入る様子を実際に見ることができ、参加者が大変喜んでいました。また、この地域の土地の低さや水害対策の重要性を改めて認識しました。

全3回のツアーを通して、東区の魅力を発信することができたと思います。



第3部会（産業・環境部門）

部会長 西方 四郎

東区の公共交通に関する実態調査

専門的知識を有する業者に委託して、新バスシステム運行前後のバス路線や本数、利用者の状況を分析し、また、区民の意向を把握するためのアンケート調査を実施しました。アンケート調査については、1,300通発送し、593通の返信（回収率約45%）がありました。平成27年9月の路線バスの再編に伴い、不便になったという回答の割合が高かったです。一方で、バスの使用頻度について、年間を通じてほとんど利用しない、これまで利用したことがないという回答の割合が高く、路線バスについては約4割、区バスについては約8割でした。

現在、調査結果を取りまとめ課題を整理しているところです。その内容を、今後の検討に活かしていきたいと思っております。



東区バス 紫竹・江南ルートの実験を行っています！

東区では、区バスの社会実験として、越後石山駅と東区役所を結ぶ「紫竹・江南ルート」を運行しています。本格運行へ移行するためには、一定の利用実績が必要となります。ぜひご利用ください。

運行日 平成29年3月31日（金）まで毎日運行

運賃 大人200円 小学生100円
※降車時に現金でお支払いください。

※シニア半わりの対象となります。ただし、ICカードによる支払いができませんので、「シニア半わりリ्यूーと」の提示により、バス運賃が半額になります。

便数 平日8便 土曜・休日6便

車両 ジャンボタクシー（乗客定員9人）

※時刻表など詳しくは『東区バス社会実験「紫竹・江南ルート」運行ガイド』をご覧ください。下記までお問い合わせください。（運行ガイドは、東区のホームページからご覧いただけます。）

問い合わせ 東区地域課 ☎250-2110



自治協委員が伝える東区の魅力

～「じゅんさい池」を紹介します！～

森林浴やウォーキングで賑わうじゅんさい池公園で、11月6日に恒例のじゅんさい池公園セミナーが開催されました。最初に「じゅんさい池の生物－現存する生物と課題－」と題し、生物多様性保全ネットワーク新潟の井上信夫氏から、「植物では、スイレンやキシノウブ、水生生物では、ミドリガメ等が増殖し自然生態系を壊してしまった。行政と地元が協力して改善してほしい」とのお話がありました。続いて、地元河渡自治会の伊藤利文氏が「じゅんさい池と周辺集落の係り」と題し、地元の女性達が池に四角い箱舟を浮かべて若井を摘み取り、

古町の料亭に高級食材として卸していたことを紹介しました。

春には京都円山公園から移植した3本のシダレザクラが、夏には幻想的なゲンシボタルが、秋には鮮やかな紅葉が皆さんをお待ちしています。ぜひ、足を運んでみてください。（井上 貞男）



池に四角い箱舟を浮かべて若井を摘み取り、



私たちこんなことやっています！

Vol.4 新潟市運動普及推進協議会東支部

区役所で行う「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりの運動を広めるために「新潟市運動普及推進協議会」を結成し、運動普及推進委員として活動しています。

東支部には、山の下・木戸・石山の3グループがあり、地域の茶の間やふれあいティールームなどの地域のボランティア活動や、「健康てくてく歩こう会」と称したウォーキング、区役所の健康づくり事業への協力などの活動をしています。

健康づくりや介護予防のための軽い体操やストレッチなどを地域の方々と一緒に取り組み、いつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるようなお手伝いができればいいと思いつつ、日々活動しています。（佐藤 恵子）

